



山桜

高階西中だより 第28号
平成28年 2月 3日

川越市立高階西中学校

学校評価に基づき、よりよい高階西中学校づくりを推進

～教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と充実を目指します～

校長 長井正邦

本校では、「学校教育目標」や「目指す学校像」の実現に向け、学校運営や教育活動の自律的・継続的な改善に役立てるため、学校評価（教職員による学校自己評価、保護者等による学校関係者評価など）を実施しています。子供たちによる学校生活アンケートの結果等も踏まえて、今後検証・分析を行い、よりよい高階西中学校づくりを進めてまいります。

ここでは、二学期末に保護者の皆様に御協力をいただいた評価の集計結果を示します。御多用の中、御協力いただきましたことに心から御礼申し上げます。

〈平成27年度保護者アンケートの結果〉

学校教育目標 「自ら考え 行動する生徒」の育成

目指す学校像 生徒が生き生きと活動し、地域に愛され信頼され期待される学校

(単位%)

No	質問項目	回答率 (A+B)	昨年度 比較
1	学校は、体育祭のエイサー等、生徒が自分から進んでさまざまな事に取り組めるように指導している。	89.9	▼
2	学校は、交通事故や不審者などの事態に対して、迅速に対応している。(対応する準備ができている。)	84.2	▼
3	学校は、破損箇所を修理したり、清掃・緑化・掲示を工夫したりして、快適な環境づくりを行っている。	90.4	△
4	学校は、授業や補充学習により、生徒の読む力・書く力・計算する力などの基礎基本の学力の定着を図っている。	74.1	▼
5	学校は、授業や言語の力を使った学習により、生徒の思考力・判断力・表現力などの育成を図っている。	77.2	
6	学校は、少人数指導や習熟度別指導等により、生徒の学習意欲の向上を図っている。	73.3	
7	学校は、教職員の共通理解のもと授業規律等を徹底することにより、生徒が落ち着いて授業に取り組めるように指導している。	79.4	
8	学校は、生徒が部活動に意欲的に取り組めるよう、指導している。	75.0	▼
9	学校は、生徒に他人を思いやる心や感動する心などの豊かな心の育成を図っている。	80.7	
10	学校は、生徒が良いこと悪いことを判断し、ルールを守って行動できるよう指導している。	87.7	
11	学校は、生徒にいじめを許さない態度や互いの良さを認め合う態度の育成を図っている。	79.8	
12	学校は、保護者が学校を見る機会を設けたり、学校・学年便り等で学校の様子を知らせたりしている。	96.5	
13	学校は、体験活動や出前授業、講演会など、教員以外の人を招いた取組を積極的に行っている。	90.4	▼
14	学校は、面談や家庭訪問などの保護者と話し合う機会を設け、保護者と連携して生徒の育成を図っている。	96.1	△
15	学校は、生徒が働くことの意義について考えたり、望ましい人間関係を築いたりする指導を行っている。	87.3	
16	学校は、農業体験・社会体験活動・保育実習など、生徒が様々な体験活動をとおして学べるようにしている。	94.8	
17	学校は、朝読書やブックトークなどの活動を推進して、生徒が進んで本を読むように指導している。	93.4	
18	学校は、家庭学習ノートの取組を推進して、生徒に家庭学習の習慣化を図り、学力の向上を図っている。	94.8	

〈表の見方〉

回答率・提出いただいた全てのアンケート（無回答も含む）のうち、「できている」「よくできている」を合わせた値を示した。なお、80.0%（目標値）を下回ったものについては で示した。

昨年度比較・昨年度同時期に実施した回答率と比較して、3ポイント以上増減があるものを「(増)↑」「(減)↓」で示した。

ただし、質問項目 No. 5 は今年度新規に追加し、他の質問項目についても質問の一部を変更している。

変更例 昨年度「～努めている」「～しようとしている」→今年度「～指導している」「～図っている」

アンケートの「質問項目」について、「学校が、具体的にどんな取組をしているのか分からないので評価(判断)できない」という意見を複数の方からいただきました。また、質問項目によっては、無回答(ABCDいずれにも当てはまらない)が10%を上回る項目もありました。今後、本校教育活動の取組を様々な形でお伝えしたり、質問項目を分かりやすい表現に変更したりするなど改善を図ってまいります。

また、いただいた御意見等について、次号以降できるかぎりお答えさせていただきます。

心に残る言葉 ～「先生は大丈夫なのですか？」～

学校で生活していると、子供たちの「人を思いやる気持ちや優しさにあふれる言動」に接することが数多くあります。そんなできごとの一部を、不定期になりますが紹介してまいります。

私「OOくん どうしたの？」
 二年生男子「微熱があるので早退します。」
 私「そうか。修学旅行が近づいてきているし、ゆっくり体を休めるのだよ。」
 二年生男子「はい。」
 (雨が降り出していたので)
 私「傘は持っているの？」
 二年生男子「ありません。」
 私「私の傘を貸すよ。濡れて体調をさらに悪くしてはいけなからね。」
 二年生男子「ありがとうございます。でも…。」
 私「ん？ どうしたの？」
 二年生男子「借りてしまって、校長先生は大丈夫なのですか？」
 私「代わりがあるから心配しなくていいんだよ。
 それにOOくんの体調の方が大事だからね。」
 二年生男子「ありがとうございます。お借りします。」
 ※後日、彼はしっかり乾かした傘を校長室に届けてくれました。

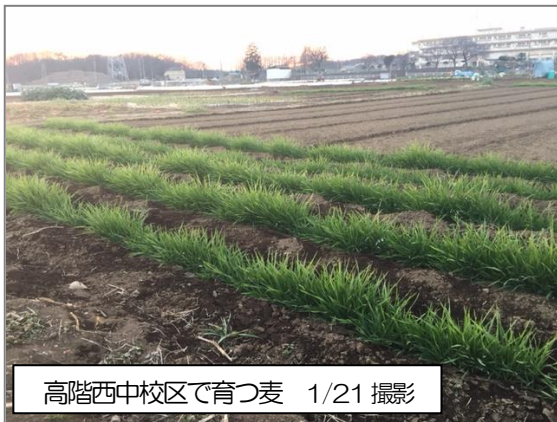


左は、先日の職員玄関での出来事です。自分の体調がすぐれない状態であるにもかかわらず、傘を貸してくれた相手のことまで思いやることのできるこの男子生徒の言動に感動しました。

このような心優しい子供たちに囲まれて高階西中学校で生活できる幸せを感じる日々です。

自然から学ぶ ～「麦」のような生き方を～

冬の間成長する「麦」は、若葉のうち何度も何度も踏まれて育ちます。若葉の時期に踏み倒す→起き上がる→踏み倒す→...という作業「麦踏み」を行います。踏まれた麦は茎が折れ、茎が折れることによって全体に水分が行き届かなくなります。すると、麦は自分自身で少しでも水分を得ようと根を一層しっかりと張り、茎を一層太くするのだとされています。また、寒い環境そのものが、低温に負けず生長して花を咲かせなくては...という潜在的な強さを引き出すのだとも言われています。



高階西中校区で育つ麦 1/21 撮影

自然の理は、私たち人間に様々なことを教えてくれます。生きていくと様々な挫折や困難に直面し、苦しさや辛さを感じることもあります。そんなとき、「自分にはきつと無理だから～しない」「今は忙しいから(受験生だから)～しない」「誰かがやってくれるから(自分の仕事ではないから)～しない」などと、苦しいことや辛いことに対して避けたり逃げたりしてしまうことがあります。

しかし、「あえて困難なことに立ち向かう」ことが、人間の成長につながる場合があります。いずれ必ずやってくる「春」「結実の季節」の糧となることがあります。「麦」の生き方から学ぶ...、私も頑張ります。

2月の主な予定

2月 2日(火)	全校朝会	18日(木)	三年生期末テスト②
7日(日)	修学旅行①		集金日②
8日(月)	修学旅行②		一・二年生学習サポート①
9日(火)	修学旅行③		ネットワーク連絡会
10日(水)	二年生振替休業日	19日(金)	三年生県公立入学願書等提出
11日(木)	建国記念の日		一・二年生学習サポート②
12日(金)	一年生保護者会 (社会体験活動発表会)		学校評議員会
15日(月)	安全点検週間	22日(月)	あいさつ運動①
16日(火)	学年朝会	23日(火)	生徒朝会
17日(水)	三年生期末テスト①		あいさつ運動②
	集金日①		一・二年生学習サポート③
	部活動停止(~25日)	24日(水)	三年生県公立志願先変更
			あいさつ運動③
			一・二年生期末テスト①
			一・二年生学習サポート④
		25日(木)	三年生県公立志願先変更
			一・二年生期末テスト②

学校教育目標
 自ら考え
 行動する
 生徒

